



細胞機能解析試薬

ディスカウント キャンペーン

キャンペーン期間：2026年9月1日～10月30日

細胞分化や細胞死などに関わる遊離ヘムを検出 HemeGREEN™

- 生細胞内の遊離ヘム (Labile Heme) を観察できる蛍光プローブです。
- 二価鉄 (Fe^{2+}) など他の活性分子種やタンパク質に内包されるヘムにはほとんど応答せず、遊離ヘムを選択的に検出することができます。
- 測定波長：励起 490 nm / 蛍光 535 nm

[メーカー：FNA]

商品コード	包装	通常価格(¥)	キャンペーン価格(¥)
FDV-0056	0.1 mg	45,000	31,500

30%OFF

病態細胞で亢進する熱発生を測定 Thermoprobe®

- 蛍光プローブを含む5%グルコース溶液で細胞を処理するだけで細胞へ導入でき、2蛍光の比により、細胞内部の温度を測定できる蛍光プローブです。
- 温度検出範囲は28℃～44℃で、0.01～0.25℃のわずかな温度差も検出できます。

[メーカー：FNA]

商品コード	包装	通常価格(¥)	キャンペーン価格(¥)
FDV-0005	200 µg	20,000	14,000
FDV-0005	3×200 µg	52,000	36,400

30%OFF

タンパク質トランスフェクション効率が高い ProteoCarry®

- 優れたエンドソーム膜破壊活性を発揮するタンパク質導入試薬です。
- 導入タンパク質の細胞内機能の評価や抗体導入による機能阻害誘導など、幅広い実験に使用できます。

[メーカー：FNA]

商品コード	包装	通常価格(¥)	キャンペーン価格(¥)
FDV-0015	1 set	42,000	29,400

30%OFF

標的糖鎖に高い特異性を示す新規モノクローナル抗体

- 免疫動物：Mouse (Monoclonal)
- 適用：Flow Cytometry, Immunocytochemistryなど (製品により異なります)

[メーカー：FNA]

標的となる糖鎖	クローン名	商品コード	包装	通常価格(¥)	キャンペーン価格(¥)
Lacto-N-fucopentaose I (LNFP I)	R-17F	FDV-0014B	100 µl	60,000	36,000
CDw75	FR9	FDV-0046	100 µg	70,000	42,000
Globotetraosylceramide (Gb4Cer)	PA5	FDV-0047	50 µg	70,000	42,000

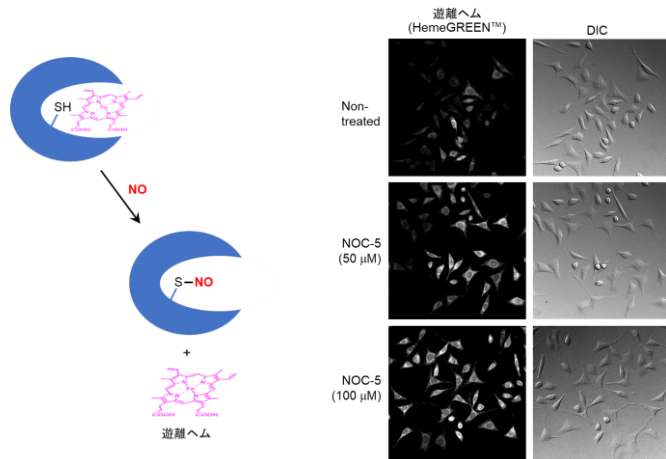
40%OFF

HemeGREEN™ <Intracellular Labile Heme Detection Reagent>



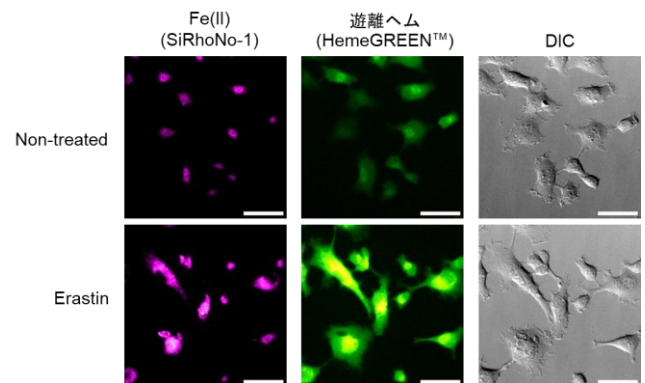
HemeGreen™は生細胞内の遊離ヘム（Labile Heme）を観察できる蛍光プローブです。二価鉄（Fe²⁺）など他の活性種やタンパク質に内包されるヘムにはほとんど応答せず、遊離ヘムを選択的に検出することができます。

使用例① 一酸化窒素による細胞内遊離ヘム濃度変化の評価



HeLa細胞にNOドナーであるNOC-5を添加し20分間培養した。さらにHemeGREEN™で30分間細胞を処理したのち、共焦点レーザー顕微鏡で蛍光像を観察し、NOが細胞内遊離ヘム濃度に与える影響を評価した。NOC-5の濃度依存的に蛍光シグナルの増加が見られたことから、NOによって細胞内遊離ヘム濃度が増加したことが観察された。

使用例② フェロトシス誘導時における細胞内遊離ヘム濃度の追跡



HT1080細胞をフェロトシス誘導剤エラスチンで処理し、6時間培養した。その後、細胞をHemeGREEN™とFe(II)プローブであるSiRhoNox-1で同時に染色し、細胞内遊離ヘムと細胞内Fe(II)の変動を共焦点レーザー顕微鏡で観察した。その結果、エラスチンの添加によってFe(II)だけでなく、遊離ヘム濃度も同時に増加していることが分かった。

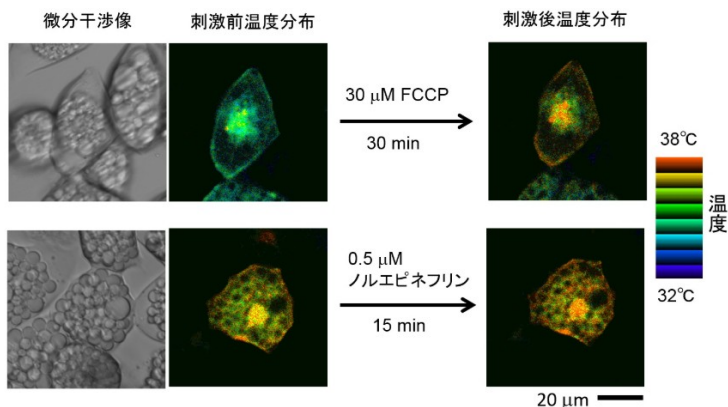
Cellular Thermoprobe® for Fluorescence Ratio



5%グルコース溶液に溶解させて細胞に添加するだけで細胞へ導入することができ、2蛍光の比により細胞内部の温度を測定できる蛍光プローブです。

※ 本試薬でのイメージングには顕微鏡ステージ上で温度管理可能な装置が必要となります。

使用例 褐色脂肪細胞の各種刺激による細胞内温度上昇



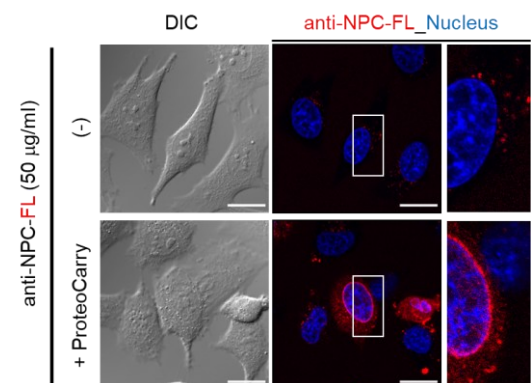
ラット肩甲骨由来初代培養褐色脂肪細胞に、ATP合成阻害物質FCCPおよびβアドレナリン受容体アゴニストであるノルエピネフリンを添加し、共焦点レーザー顕微鏡により473 nm励起における500～520 nmおよび560～610 nmの蛍光像を取得し、蛍光比（蛍光560～610 nm／蛍光500～520 nm）を別途取得した検量線に合わせて疑似カラーで可視化した。

ProteoCarry® <Protein Transfection Reagent>



タンパク質やペプチドなどの生体高分子を細胞質に導入する試薬です。従来のタンパク質トランスフェクション試薬は導入タンパク質がエンドソーム／リソソームで滞留することが問題視されていましたが、本製品はタンパク質を細胞質に高効率に輸送できるため、導入タンパク質の細胞内機能評価や、抗体導入による機能阻害誘導など幅広い実験に使用できます。また、タンパク質とのプレインキュベーション不要でタンパク質と複合体を形成しないため、タンパク質機能に与える影響を最小限に留められます。

使用例 抗核膜孔複合体抗体の導入



HeLa細胞へ蛍光標識した抗核膜孔複合体 (Nucleus pore complex; NPC) 抗体 (anti-NPC-FL) を導入した。本製品を用いた場合は、核膜構造が明瞭に観察されており、抗NPC抗体が細胞質に取り込まれたのち核膜構造に結合していることが分かる。

NOTE

- ※ 本紙に掲載されている価格は、2026年9月1日現在です。
- ※ 本紙に掲載されている製品はすべて研究用です。医薬品、診断用医薬品、食品、食品検査等の用途には使用できません。
- ※ 仕様は改善のため、予告なく変更することがあります。
- ※ ご注文の際は、【品名、メーカー（FNA）、商品コード、包装、数量】をお知らせ下さい。
- ※ 記載されている会社及び商品名は、フナコシ株式会社の商標または登録商標です。
- ※ 表示価格には消費税等は含まれていません。また価格は予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

販売店

総代理店

フナコシ株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目9番7号

www.funakoshi.co.jp info@funakoshi.co.jp

試薬に関して: reagent@funakoshi.co.jp

TEL 03-5684-1620

funakoshi

@Funakoshi_CoLtd

フナコシ株式会社
FNA-2608-F17 (2026.9)